

東京大学を超える就職実績



マスコミも注目！ほぼ全員が希望進路に

2020年度 公務員採用試験合格実績 消防官 26名

国家公務員 7名		警察官 14名	
国家専門職 (国税専門官) 3名	国家一般職 4名	警視庁 1名	愛知県警察 1名 (1)
※国家一般職詳細【内定先：①総務省 (本省) ②厚生労働省 (本省) ③公正取引委員会 (本省) ④航空自衛隊 (防衛技官)】		千葉県警察 3名	青森県警察 1名
自治体 15名		千葉県警察事務(中級) 1名	静岡県警察 3名 (1)
東京都特別区 2名	千葉県庁 2名 (1)	茨城県警察 2名	長野県警察 1名
千葉県役所 1名	千葉市役所 1名	埼玉県警察 1名(但しⅡ類-3年)	
市川市役所 1名	柏市役所 1名		
鎌子市役所 1名	山武市役所 1名 (1)		
山武市役所 1名 (1)	神栖市役所 2名 (2)		
銚田市役所 (保健師) 1名	武蔵野市役所 1名【席次1位】		
石巻市役所 1名	一般置候補生 3名		
弘前市役所 1名	陸上自衛隊幹部候補生 1名(1)		
	一般置候補生 1名		

千葉科学大学の就職実績が熱い！まだ国家資格合格後の就職が確定していない人がいるので、二〇二一年の数字は出ていないが、それでも多くの卒業生が自分が夢見た社会人としての第一歩を歩みだしている。その

中で今回は公務員採用試験に注目してみたい。二〇二〇年の実績だが左の表を見ても多くが希望するところにおおむね合格し、ほぼ全員が満足する結果で公務員としての第一歩を歩みだし

二位以下に東大が並ぶ

公務員総合職の一次合格者が二人もいることだ。担当の戸田博也教授は言う。「一人はお世辞にも入学時に成績が良いとは言えなかった。偏差値が五〇前後ではなかったかな。本人は、初め何故先輩たちが質問ができるのか不思議だったといっていたのです。それが、四年たって、総合職に合格するなんて、本人が一番驚いていました。」

学に挨拶に来る人も少なくない。特筆すべきは国家

二位以下に東大が並ぶ

通常の講義の中で学ぶことができる。もう一つ注目すべきは東京都武蔵野市の実績ではないか。実は武蔵野市は、民間が試験委託を受け、他の行政市などと試験日程が重ならないので、日本から受験生がくることで知られている。当然に東京大学や京都大学など名だたる大学も武蔵野市を受験するのである。

「東大・京大を抑えて千葉科学大学が席次一位の合格です。二位以下は東京大学以下ずっと並んでいるんです。席次一位と二位の人は、特別なことが無い限り幹部候補生という扱いであるということですから、将来武蔵野市をはじめ多くの地方で幹部が本学の卒業生になるかもしれません」

戸田教授は、元々柔和な表情であるが、その顔が崩れたままだ、自分の事のように喜びを隠せない様子だ。「当然に誰でも合格させるつもりでいます。しかし、試験は運もありますから必ずやる気で大学を選べるか？」

やる気で大学を選べるか？

徒は本当に恵まれた環境にいるのだ。就職も公務員試験も大事なものは、大学入学時の偏差値などではなく、「大学に入ってから何を学ぶか」である。その時に、指導してくれる教員や自分でわかってゆくプロセス、そして知ることの楽しさを学ぶことが重要である。人生の「どの時期に伸びるのか」

「もしも希望通りにならない場合もあります。特に新型コロナウィルスの影響もあって難しい部分もありました。本学の学生は、もしもそれで希望通りにならなかつた場合、卒業後も何回でも相談に来てもよいということになっています。一生面倒を見る、一緒に公務員を務めているつもりでサポートする体制なのです」

千葉科学大学の生

ということは、その人それぞれである。その意味で千葉科学大学はそのような本人が学ぶことのできる環境を提供できているのではないか。

高校までの勉強と大学で学ぶことは全く異なる。「どんな人でも入学すれば未来が開ける。夢をつかめる」ということが千葉科学大学の教育なのだ。

発行：千葉科学大学入試広報部
発行：田中良
編集：宇田川敬介

千葉科学大学BIG対談

加計孝太郎理事長・東祥三学長日本の大学教育を斬る！

令和四年四月二十八日、千葉科学大学において学校法人加計学園加計孝太郎理事長と、千葉科学大学東祥三学長が本紙と、その読者のために、千葉科学大学の開学の精神から現在の大学教育に至るまで様々なことを語ってくれた。

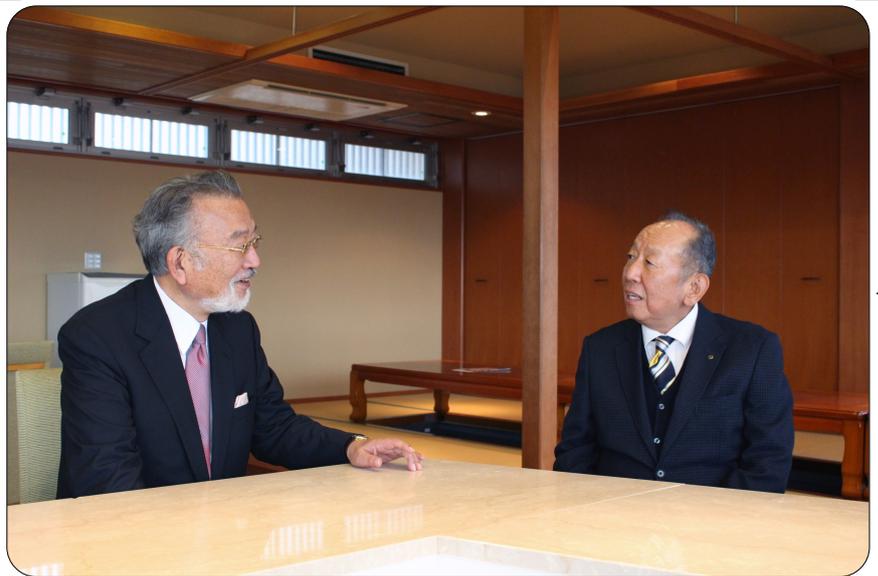
その一部始終、つまり千葉科学大学の教育とは何かという精神を、その対談の言葉のまま皆さんにお伝えします。

なお、最後に本紙に出てきた難しい単語の解説集を編集部で付けますので、まずはお読みください。

★

加計孝太郎理事長
(以下：加計)：東さんには今年の四月から新学長に就任していただきました学長の仕事は慣れてこられましたか。

東祥三学長 (以下：東)：以前と比べて、学生と直接接触することが少なくなりました。



したが、それでもやる気に満ちています。時間を作っては、朝、銚子駅前で本学学生の皆さんや銚子市内の高校生の皆さんが通学する姿を見ながら、何を考えどんな会話をしているかを聞かせていただくのが楽しいです。ちょっと、変なおじさんに見られていても構いません。(笑)

加計：それは、今までの学長はあまりしななかった、新しい取り組みですね。
東：その中で、女子高生であったと思いますが、駅前の「入学おめでとう」の看板を見ながら「千葉科学大学って、加計

学園なのに、新しい学長は東って言うんだって。」という会話を耳にしまして、学園の名前や、学校法人の名が徐々に銚子の人たちにも知られるようになってきたと思います。
加計：私ももちろん、学校法人加計学園の理事長と、その中の設置校の一つである千葉科学大学学長という立ち位置からわかりやすく説明してゆく必要があるのかもしれませんが、これはどんな仕事でもそうですが、「相手の立場になって考える」ことが重要で、学校のこともより丁寧に高校生の目線で説明しなければならぬというところを、改めて考えさせられますね。

東：はい。そこで、本日お忙しい中時間を頂き、こうやって二人での対談を企画した次第です。
加計：こちらこそありがとうございます。初心に帰っているというお話できればと思います。

千葉科学大学開学の精神

東：まず最初に、加計理事長はどうしてこの千葉科学大学を開学しようと思ったのでしょうか。

加計：そもそもこのきっかけは、二〇〇一年九月十一日に発生した「アメリカ同時多発テロ事件」でした。今でも鮮明に覚えておりますが、ニュースを見ていましたところ、旅客機がニューヨークの貿易センタービルに激突したのでした。これは大変なことになったと思った直後、もう一機が隣のビルに突っ込みました。今年、本学に入学された方やこれから入学を考えている高校生の皆さんは御存じないかもしれませんが、それまでの常識では考えられなかった史上最悪のテロ事件だったので、よろしくお願

いで、よろしくお願いたします。
東：その事件は私もよく覚えております。大変な衝撃でした。
加計：本当に衝撃的でしたね。そのような中、私が思ったのは「このようなテロ事件が日本国で発生した場合、我々日本人はしっかりと対処できるのか。」ということでした。そこで日本の大学を調べてみたところ、「危機管理」を教育研究している大学は皆無だったのでした。
東：日本人は、地震や津波をはじめとした天災に対する備えは、経験から構築できるもの、それも完全なものではありません。さらに、凶悪なテロ行為や犯罪に対する備えや心構えとなると、ほとんど、ゼロといっても



過言ではないくらい何もできていないですからね。
加計：そこで、しっかりと「危機」に向かい合い、「危機」を学び、「危機」に備える。そして、危機が発生している真つただ中に飛び込んで多くの人を助けることができる技術・知識・判断力を持った人材を養成する研究機関となる場所を作らなければならないと思っただけです。
東：加計理事長から見て、日本国内に危

機に対処できる人は増えたと思われませんか。
加計：まだまだだと思えます。日本のことわざに「喉元過ぎれば熱さを忘れる」というものがありますが、危機に遭遇しても過ぎ去ってしまった「過去の出来事」として風化して忘れられてゆくために、どこか他人任せのところがあるのかもしれないですね。
東：逆に見れば、日本でも唯一、世界で通用する危機管理学の

学位を取得できる本学の学生は、活躍できる場が世界中に数多くあるということですね。
加計：そうなんです。本学学生の皆さんの将来は、チャンスが無限にあり、来るべき新時代のフロンティアとなれると信じております。
東：なるほど。そして「アメリカ同時多発テロ事件」をご覧になって開学を決定されたということですから、「航空技術危機管理学科」が設

置されているのですね。
加計：本来、航空機をはじめ自動車や船などすべての乗り物に当てはまることですが、使い方によって私たちの生活に便利にすることもできれば、人の命を奪う危険な凶器にもなり得るのです。特に、航空機は空を飛べない人間が操縦するのですから、危機に關してより深く学んでおかなければならぬのです。
東：動物危機管理学という分野も、他には見られないものですね。
加計：動物も一つの命であり、人間が動物を救うだけでなく、動物から人間が救われるケースもあります。その動物の命も等しく危機から救うということも重要ではないでしょうか。
東：動物が異常事態や危機を教えてくれることも少なくありませんね。地震の直

前にナマズが暴れたり、ネズミが街からいなくなったり、犬が遠吠えをしたりというエピソードを聞いたことがあります。
加計：はい、それらのケースには、かつて本学の兄弟校である岡山理科大学総合情報学部で教鞭をとられていた、故・弘原海清先生が阪神・淡路大震災の折、震災発生前の前兆をまとめた「前兆証言1519」を上梓されました。その中には東学長が指摘なさった生物の前兆証言も多数、収録されております。新しい研究課題であると思っております。また、動物たちが子供の命を守ってくれたり、大人の孤独を癒してくれたりと、人間のパートナーとして必要不可欠な存在である視点からの研究も必要です。
東：さらに本学は危機管理学部のほかに看護学部と薬学部も

設置されております。
加計：それに加えて、危機管理学部の中に保健医療学科を設置しております。看護学部と薬学部は国家資格取得の関係で学部を分けておりますが、いずれも「危機に際して命を救う」という重要な役割を担っております。
東：本学を設置しております加計学園の各設置校を見ますと、医学部以外のほとんど全ての理系の学部学科がそろっておりますね。
加計：岡山理科大学には恐竜・古生物を

専攻できる学科などもあります。ここ千葉科学大学には、その中で危機に際して必要不可欠な学科をそろえました。さきほどお話ししました、故・弘原海清先生の研究活動にありますのが、本学園は「学際領域の研究」も教育研究の一つの柱としております。一見、相違なる研究領域を互いに融合させることで、全く新しい学問を作り出し、新時代に貢献できる人材を養成する。本学学生の皆さんには、銚子の大自然の中で、

加計孝太郎理事長
学校法人加計学園理事長
岡山理科大学・倉敷芸術大学・千葉科学大学など十二の学校まとめる「教育人」
本人は歴史好きで、士氣を高めて物事を成し遂げる話をする。
あまり知られていないが岡山の偉人で閑谷学校再興した教育者の山田方谷の教育者の系譜を現代につなぐ教育者である。

じっくりと「危機管理」をそして「人間の存在」について考えてもらいたいのです。その願い、思いが、学生やこれから入学される皆さんに伝わってほしいと願っております。
東：わたしは、大学において偏差値は関係なく、人間力がある学生、やる気がある学生こそ重要だと思ひ、この千葉科学大学ではそういう人材を育ててゆきたいと思っております。
加計：私の父であり加計学園の創立者である加計勉は、戦後の焼け野原になった

大学に入って何を学ぶか
関係なく、人間力がある学生、やる気がある学生こそ重要だと思ひ、この千葉科学大学ではそういう人材を育ててゆきたいと思っております。
加計：私の父であり加計学園の創立者である加計勉は、戦後の焼け野原になった

広島の街に立つて「平和な日本を作るためには、科学と教育が必要」ということを痛感し、それで教育事業に乗り出しました。本学開学も、その精神を受け継いでおり、建学の理念にもある通り、人間に必要なのは、「何をどのように学び身に着けるか」ということなんですね。その意味で「大学に入る時の偏差値ではなく、大学に入って何を学ぶか」が最も重要という東学長の考えは、その通りだと思います。

東：現在の教育というのは学校が用意した回答を記憶し、そして、それをそれぞれの場面に従って記憶した通りに出すということが基本になっています。しかし、社会に出たら回答のあるような問題は少ないですし、また、あらかじめ回答が用意されていることなどは全くありません。

これでは、社会人になっても役に立たず、自分から問題を提起したり、第三者に積極的・能動的に働きかけたりすることができない人間になってしまいます。

加計：そうですね。本学を設置しており、まず加計学園の理念には「一人ひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し、技術者として、社会人として、社会に貢献できる人材を養成する」とあります。人間の可能性は無限大です。その能力を最大限に引き出すことができますれば、対処できない問題はありません。しかし、今の人々は初めからでき

重要なのは自分で考える力

り、学生が本来持っている能力を引き出すための教育がおりなっていること、私に疑問に思っているのです。

東：本当にそうではない言い訳を探し、責任を回避することばかりで「自分に何ができるのか」「できるようにするには何が必要なのか」を考えようとしないうちに見受けられます。

東：本当に私が政治の世界にいたときも、学歴は優秀なのに、できない言い訳ばかりで怒ったことは何回もあります。

加計：そうでしたか。そのような状態では組織も社会も、そして国全体も衰退の途をたどる運命になってしまいます。今の教育は、そのような学生の「やる気」を失わせてしまい、用意された模範解答を答えさせるものばかりで、学生が本来持っている能力を引き出すための教育がおりなっていること、私に疑問に思っているのです。

「クリティカル・シンキング (Critical Thinking)」が、ここ二、三〇年で日本においてもビジネスパーソンの中で注目されてきております。この「クリティカル・シンキング」とは、物事を「クリティカル」すなわち批判的にとらえ、先入観や固定概念に捕らわれないこと、常に「本当に正しいのか」を様々な角度からアプローチし、常に問い続けながら問題解決のできる思考法であり、この激動の時代を生き抜くために必要不可欠なアイテムの一つであると思っております。

東：まさにおっしゃる通りだと思います。貴重なアドバイスありがとうございます。現代の、覚えたものを答案用紙に書く教

育ではクリティカル・シンキングをできる人は非常に少なくなっています。日本人は言葉だけ真似して使えば出来た気になってしまい、本当の意味で実践できる人が少ないのです。そこで、千葉科学大学に入学した人は、自分でものを考えられ、自分の頭の中でその内容を検討して一定の結論に到達できるような、教育をまずは行い、そして卒業すれば誰もが自



東祥三学長
学校法人加計学園千葉科学大学学長。
 国連難民高等弁務官を経て衆議院議員となり、内閣府副大臣や・外務総括政務次官衆議院安全保障委員長を歴任。
東日本大震災の時に、防災担当副大臣として現地に outgoing、復旧復興を指揮する。その時に「東北が全て復興するまで髭は剃らない」と決意し、現在に至る熱血漢である。

分の問題を多角的に検討し問題解決ができる、つまり本学卒業生がすぐに社会的リーダーになるような教育を施したいと思っております。

加計：危機管理、特にクライシスといわれる危機の真つただ中では、瞬時にその思考ができ、自分で判断をしなければ生き残ることもできません。したがって、東学長の理想を実現させるためには、教

員や職員がまずは東学長の考え方を理解し、実践できるように変えてゆかなければなりませんね。教育者の教育は、学生教育よりも難しいですから大変です。しかし、世界の教育機関の中には、もっと進んだ考え方をもってリーダー教育をしている教育機関も少なくないのです。

東：世界の人材や教育といえば、加計学園は創立者の時代より、「国際交流」に

着目され、世界の大学をはじめとした教育機関と盛んに交流協定を結ばれ、教職員や学生の相互交流を実現していますね。現在は、新型コロナウイルスの影響によって自粛されておりますが、これも教育の一つの柱として本学でも新しい展開を考えていきたいと思っております。

加計：東学長は、ご経験から国際交流や世界の様々などところを見聞されておられますから、東学長にお任せすれば、我々が考えているもの以上の結果が出るかもしれないですね。

東：私の経験から言わせていただきますが、以前、国連に勤務していた時、世界中いくつもの危険地帯や難民キャンプを目にしてきました。そのような環境の中だから学びたくても学ぶことができない人々が、同じこの地球上に数多くいるの

です。そういう人たちにも何らかの形で、教育を援助してゆきたいと思っているのです。

加計：それは素晴らしいことですね。本学の卒業生もそのような志を持ってくれると嬉しいです。しかし、目を世界ばかりではなく日本国内にむければ、夢を諦めてしまっている高校生も少なくありません。その人たちにも学びの機会を提供してあげていただきたいと思えます。

東：はい。本年四月より開校した、千葉科学大学附属高等学校には、広域通信制で国内はもとより海外

親代わりになる大学

外十七カ国を対象に広く門戸が開かれた学校であり、これを高大連携で軌道に乗せることが目標です。また本学は、やる気さえあればあとは大学で教育するということで、バックアップ体制を教職員に徹底しております。学生の皆さんが学びやすい、相談しやすい、話しやすい、わかりやすい、そして楽しい環境を作ることが学長としての務めであると思っております。

加計：おっしゃる通りですね。タレントのビートたけしさんは、「勉強するから、何をしたいかがわかる。勉強しないから何をしたいかがわからない。」という名言を出しておられます。偏差値とか、高校時代の成績が悪いというものは、本人の問題よりもむしろ環

境が整っていないから、たこの結果ではないでしょうか。どうか、東新学長の下で、世界から銚子の地に集う皆さんに自ら学び新しいものと創り出す喜びと一生の

ライフワークを見つけてくれるキャンパスライフづくりを提供していただきたいと思えます。

東：教育というのは学校ばかりではなく、当然、家庭でも、また社会でも行わなければならぬものではないでしょうか。家庭での教育がいわゆる「躰」であり、その「躰」ができているといふ前提、延長線上に学校教育があり、さらに社会人としての教育があるのとらえています。そして学校教育とはまさに家庭から、社会への過渡期における「人間を創る」ことを根底にとらえなければならぬと認識しておりますし、家庭から学校、社会という連携が不可欠ではないでしょうか。

加計：本来はそうあるべきですね。現在の教育制度は、昔からの慣習でできているようなものです。昔と

和の半ばくらいです。まだ、一家でおいさん、お父さん、お母さん、そして子供たちがいるような家庭で、皆で子供たちを躰てゆくような家庭環境を想定しての教育制度なのかもしれません。

東：あまりテレビは見ないのですが、漫画のサザエさんの一家みたいな感じですね。

加計：本当にその通りですね。しかし、現在の家庭環境は核家族化が進み、両親も共働き。さらに兄弟も少ないので、家の中でコミュニケーションを取らない。核家族化ならぬ「核個人化」などと揶揄される場合もあるほど、コミュニケーションをとることができない。当然に、人間性や社会性を育むことが困難になっている。

東：それを裏付ける資料として、数年前

のマスコミが取った統計ですが、高校生や大学生に「お母さんの味は何ですか」というアンケートを取ったところ、実に40%がコンビニエンスストアのお弁当や冷凍食品を答えたというのです。全く驚かされますね。

加計：そのような数字を聞くと、改めて



たちがかわいそうだなと思ってしまうですね。しかしながら、それが現実でもあるんです。どの家庭も共働きで両親が家に帰ってこない。冷凍食品のお弁当お金だけを置いて、子供が自分でお弁当を買ってくるということが「普通」になってしまっているのです。

東：そこから日本の

社会がおかしくなっ
ていつているのでは
ないでしょうか。何
とか修正をしてゆか
なければなりません。
加計：東学長は、以
前、国会議員の経験
がおりです。それで、
様々な問題を国家レ
ベルやグローバルな
視点から考察される
ので、頼もしいです。
しかし、大学生が在
学している期間は四
年間、薬学部でも六
年間です。その間に
日本が変わったとし
ても、今、コンビニ
エンスストアのお弁
当をお母さんの味と
いつてしまう学生の
時間は戻りません。
また共働きも、それ
ぞれの家庭の事情が
あると思います。だ
から、本当は小学校
や中学校、高等学校
そして本学を含む大
学という教育の場が、
親代わりになって考
えてあげなければな
らないのではないで
しょうか。千葉科学
大学は、他の大学に
率先して、そのよう

な人間性教育を優先
してゆかなければな
りません。また、東
学長にはそのような
大学づくりを、世間
の目や他の反対を気
にせず、正しい人
間教育を目指してい
ていただきたいと思っ
ております。
東：「学ぶ」とい
うのは学問ということ
ばかりではなく、人
間性や社会性といっ
たものも併せて学ん
でもらいたいと思っ
ております。江戸時
代の寺子屋は、論語
の素読をして精神を
学び、幕末の志士達
を生み出しているの
です。知識や技術を
学ぶだけではなく、
やはり先ほど申し述
べた人間性や感性、
社会性を学ぶことに
よって、今まで経験
したことにない事態
に直面しても冷静か
つ的確に対処できる
人間が育つと思うの
です。社会人になれ
ば「想定外」だから
といって諦めること
は許されません。こ

れからの激動の時代
に対応できる人間は
そうでなくては困る
のです。
加計：千葉科学大学
では、論語や哲学を
学ぶ学科はありませ
んが、しかし、科学
も他の学問も当然に
物事の根源を学ぶも
のですし、また人間
性や社会性を学ぶと
いうことは、日々の
生活の中で様々な人々

世代を越えて大事な事

東：このように対談
をさせていただいて、
やはりまだ高校生に
は難しいのかなと思
うことが少なくあり
ません。
加計：そもそも、私
や東学長と、今の高
校生は半世紀以上年
齢が離れていますか
ら（笑）高校生に合
わせているつもりで
も、なかなか高校生
の感性に合わない場
合が少なくありませ
ん。
東：改めて、半世紀
も年齢が離れている
の出会いやふれあい、
仲間や友達と切磋琢
磨して学ぶものであ
ると思います。幸い、
銚子は人柄・土地柄
もよく、よい意味で
都会ではない緊密な
社会性を学ぶには良
い場所です。サーク
ル活動なども通して、
人間性を、そして自
然の中で完成を磨い
ていった欲しいと思っ
ております。

東：大学もそのよう
にわかりやすく対応
できるようにしなけ
ればなりませんね。
加計：わかりやすい
だけでなく、なるべ
くワンストップです
べての疑問にお答え
して、利便性を高め
なければなりません。
「たらいまわし」は
許されないのです。
個別で相談に来てく
その人々が高校まで
訪問して応対する。
当然に、この対談内
容よりもわかりやす
い表現で説明でき
ると信じています。彼
らは高校生の皆さん
と半世紀も離れてい
ませんからね（笑）。
これを読んでくれた
方は、ぜひ一度千葉
科学大学の入試広報
部にアクセスしてど
んな内容でも話を聞
いてくれればと思い
ます。
東：その点はお任せ
ください。これから
世界はますます複雑
になり、何が起ころ
か予測のできない時

代になると思います。
その時に、今の日本
の教育、特に大学教
育では、対応できな
いことが増えてゆく
であろうことは容易
に推察できるところ
です。
加計：本当に複雑で、
予想不可能ですね。
東：そうなんです。
日本人は先例主義な
どいって過去の成
功事例を考えますが、
これからは今まで対
処してきたからとい
て、今まで通りにな
るとは限らないので
す。政治学者、故・
小室直樹氏は「国家
の指導者を指すも
のは、『常住坐臥・
常在戰場・常在国難』
の気持ちでいるとき、
危機管理能力は驚異的
に伸展する。これは
世界史の鉄則である。」
と述べられておりま
す。これは大学教育
の場にもそのまま当
てはまるのではない
でしょうか。学長以
下教職員がこのよう
な気持ちで学生への
教育研究指導に当た

り、人材を育成し、
その育った人材がま
た新しい人材を育成
してゆく。このプラ
スのスパイラルが軌
道に乗れば、日本の
危機管理に大きく貢
献できると信じてい
ます。まさに今が日
本の危機であると危
惧しているのですが
理事長はどのような
お考えでしょうか。
加計：本日の対談を
通して、現在の日本
及び日本人は、危機
に関する専門の学校
もなく、また、大学
教育も想定外のこと
に対処できなくなっ
てしまってきている
のです。それがさら
に政治、経済、産業
などあらゆる分野に
まで及んでおります。
一例をあげますと、
三年前から発生した
新型コロナウイルス
による世界的パンデ
ミック、ロシアによ
るウクライナ侵攻、
それに伴う世界秩序
の激変。日本も急激
な円安による悪影響
が随所に現れてきて

おり、まさに日本の危機が今ここにあり、という東学長の意見に賛成です。だからこそ、危機管理を専門として千葉科学大学がこの日本の危機を救うために、

大学教育そのものから変えていただきたいと思っていますので。まさに「現代教育全体の改革」こそが、一つの危機管理であり、本学の使命なのかもしれません。そして本学に学ぶ、また入学を希望され

対談後の蛇足

東：こんな感じでいいかな。

スタッフ：お疲れさまでした。ありがとうございました。

加計：ちよつと難しかったかな。

スタッフ：いや、会話はそのまま、皆さんにわかりやすいように新聞の中に解説を入れるようになります。

東：高校生や中学生

る皆さんが、その危機を乗り越える力になってくれるのではないかと期待しております。

東：本日は長い時間ありがとうございました。

加計：ありがとうございます。これからは、私や副理事長が銚子に顔をだしたいと思っています。皆さんも姿を見かけましたら気軽に声をかけてください。

にもわかるようにちゃんとやってよ。理事長も期待しているからね。

スタッフ：任せておいてください。

対談はスタッフを含め終始和やかな雰囲気で行われた。文章からも二人の教育に向けた熱い思いが伝われば有難いかと思

対談の中の難しい言葉解説

アメリカ同時多発テロ事件

二〇〇一年九月十一日、イスラム原理主義組織アル・カイダによって行われたとされるアメリカに対する同時テロ事件。航空機がハイジャックされ、その航空機がアメリカの重要施設に体当たりするという事件が発生した。特にニューヨーク貿易センタービルに体当たりした航空機は、そのまま炎上し、貿易センタービルが倒壊するという悲劇は、世界を震撼させた。一連の攻撃の結果として日本人二十四人を含む二九七七人が死亡、二

ていく思考法。似たような中で「ロジカル・シンキング」というものはあるが、ロジカル・シンキングは論理的整合性が取れていけば、思考の偏りまでは検証しないというものに対して、クリティカル・シンキングは、与えられた前提情報を検証し、それ以外にも情報はなにか、自身の考えは偏っていないかを検証していく思考法となり、より不完全さがなにかを追求することから、注目を浴びている。

論語の素読

万五千人以上が負傷し、少なくとも一〇〇億ドルのインフラ被害・物的損害に加えて、長期にわたる健康被害が発生した。アメリカの歴史で、最も多くの消防士および法執行官が死亡した事件であり、殉職者はそれぞれ三四人と七二人であった。

江戸時代までの寺子屋などで行われた、意味などわからなくても姿勢を正して孔子の記した「論語」を皆で言葉を揃えて発音する教育法。近年、意味が解らないと教育にならないと考えられるが、実際には、発音をすることで言葉に興味を持ち、自然と学ぶ姿勢を得ることができるとして、最近見直されている。

クリティカル・シンキング

「本当にこれで正しいのか」という視点を持って物事を見ることで、より正しい論理につなげ

幕末の志士を生み出した。松下村塾でも当初は論語の素読から始めたといえられ、多くの

調子よく銚子特別版

ロケ地に使われる銚子

日本テレビ系で、毎週水曜日夜一〇時から『悪女(わる)』働くのがカッコ悪いなんて誰が言った?』が放送されている。

社員(向井理)に一目惚れし、その男性にふさわしい女性になるために社内で活躍するという物語。

その第一話、四月十三日放送の回で、銚子マリナがロケ地として使われていたことに気づいただろうか。

銚子が出てきたのは、気の利いた対応がでなかつた営業部社員(志田未来)が、取引を断られた会社の社長(平泉成)に思いをぶつけるシーン。

このドラマは、深見けんさんによる同名の漫画の実写版で、落ちこぼれの新社員・田中麻理鈴(今田美桜)は、社内で偶然会った男性

今田美桜さんは、新しい世界を見るとして、ドラマの設定では広島の子会社社長が釣りを楽しむ場所となっているこの堤防から海に飛び込むのだ。



トレンディドラマの舞台になるおしゃれな街銚子。海に飛び込むのは危険だが、いつかドラマの主人公に会えるかもしれない。

千葉科学大学が関係各所と連携

海難救助に新しい形・ドローンの活用を千葉科学大学と演練



令和四年四月二十八日午前一〇時より、千葉科学大学危機管理室を中心に関係各所と連携して、海難救助におけるドローンを活用した合同訓練が行われた。

近年、台風などの荒天によって、海難事故が増えている。最近でも北海道の知床半島沖で観光船の遭難事故が発生したことは記憶に新しい。これらの事故に際して、関係各所は人命を救うべく様々な手段において、一刻も早く現場に駆け付け対処できるようなしているのであるが、それでも、時間がかかってしまい、また二次災害を避けるなどの観点から救助が思うように進まない

屏風ヶ浦で海難想定

「磯で転落して、怪我をして動けない」と通報が入るも、電話が途中で切れてしまい、詳細な場所が判明しない。当日は台風が接近し、波が高くなつており長時間の放置により波にさらわれる可能性があるため、緊急を要する。なお、二次被害の危険を伴うことから、ドローンによる捜索の支援及び要救助者の救助が依頼された」という想定



配置し、ドローンの飛行開始が一〇時三〇分となった。当日の天候は曇り、波はそれほど高くはないものの白波が立っている状況である。風速は、出動前に計測したもので八〜一〇メートルという中でドローンは、かなり安定して飛び立った。二機への協力要請が来た想定で、訓練が行われた。すぐにドローンなどを準備し、車に乗り込んだ学生たち、ドローン担当の海老根雅人先生と救護担当の飯田涼太先生から車内でフリーフィングが行われ、訓練とは思えない真剣な表情の参加者の姿が印象的であった。屏風ヶ浦の遭難現場と想定されている現場付近に到着し、手早く準備をしたのちに、人員を適所に

成功の中にも課題と教訓

行った。「屏風ヶ浦の立ち入り禁止場所で釣行していた釣り人から「磯で転落して、怪我をして動けない」と通報が入るも、電話が途中で切れてしまい、詳細な場所が判明しない。当日は台風が接近し、波が高くなつており長時間の放置により波にさらわれる可能性があるため、緊急を要する。なお、二次被害の危険を伴うことから、ドローンによる捜索の支援及び要救助者の救助が依頼された」という想定を作った。

一〇時に海難救助への協力要請が来た想定で、訓練が行われた。すぐにドローンなどを準備し、車に乗り込んだ学生たち、ドローン担当の海老根雅人先生と救護担当の飯田涼太先生から車内でフリーフィングが行われ、訓練とは思えない真剣な表情の参加者の姿が印象的であった。屏風ヶ浦の遭難現場と想定されている現場付近に到着し、手早く準備をしたのちに、人員を適所に

課題も見えてきた。今回の内容については、訓練を指揮した佐藤庫八副学長は「最近ドローンの機能の向上などで、様々なところで有用に使用され、その使い方が大事になっている。この機会にドローンの有用性を再認識して、訓練しなければ」と語った。

のドローンが様々な方向に進み、約十五分で発見、安全なところに搬送後、足、腕など怪我の箇所の固定などが手早く行われた。

本件の訓練は、初めて行われ、おおむねうまくいったものの、発見までの十五分という時間が適切なのか、また、無線での連絡が早口で話してしまつてうまく伝わらない、あるいはモニターが光の反射で見えづらいなど、

ならない。ドローンは、風雨の影響を受けやすく、強風の中でどのように安定して救助ができるのかなどをより一層研究する必要がある。今回は初回としては成功したが、今後よりいっそうの訓練が必要ではないかと思う」と語った。

卒業生訪問 東京看護協会山元恵子会長

本学大学院を卒業し、現在活躍しているのが山元恵子東京看護協会会長だ。

本学では、経鼻栄養チューブの安全な使用についての研究をしており、現在その著書も多い。介護職員も行うようになる経鼻栄養チューブについて「まみむめもの確認」という誰でもできることを確認することで事故を防ぎ患者さんの命を守るということを守り、安全管理学の一貫として研究してきた。

富山県出身で、女性も手に職を持ち仕事をすべき、そして多くの人の世話をすることが好きだったということから、看護師を目指したが、初めのうちはあまり好きではなかったという。しかし、当時はしっかりとした資格が少なかったため、看護師を続けていた。「なんでもやり続けることが大事。そして困っているときは声を上げること。そうすればきっと誰かが助けてくれる」



格が少なかったため、値などで比較させられて自分に自信がなくなっていた。本当は良いものを持っている。自信をもって自分のやってきたことをもってやりぬいてもらいたい。公務員とか国

お子さんが三人いらっしゃるが、同時に子育てをしている看護師五人で、子供を預けたりして子育てを楽しんだという。

「今の人も、友人を頼り、子育てと仕事を両方継続してもらいたい」という。「今の人って、偏差

家資格とかではなく、学んだこと経験したことすべてを持って、今がスタートだと思っ様々なことをやって

てもらいたい。」と今の教育に一石を投じる。「これから大学に来る人には、何でも包み込んでくれる海を見て、自分のやりたいことを自由に発想してもらいたい。社会に出たり都会にいたりすると、流されてしまつて自分で考える時間なんてないから。そういう時間を楽しんでもらいたい。」という

本学の学生とも話をしたいと希望の山元会長。近くお招きして仕事と子育ての両立や看護師と危機管理についてお話し

直接会うことが大事

看護学部では実習などがあり、人の命を預かる仕事なので当然に厳しい指導が続く。その為に、メー

時に、何と冷たい、機械的な人であると思ひ、訪問するとき

メールなどは冷たい表現だったのかなど」メールなど直接会わないとニュアンスも伝わらない。やはり人は、直接会って

話さないと本当のところはわからないと、考えを改めたそう。人の命を救う人は、人を感ずることが大事、改めて皆さんも感じてください。

動物の貢献によりマスクの寄贈を受ける

令和四年四月、千葉科学大学は、動物看護という分野で研究を行い、また災害における動物の救助などの対応に多大な



貢献したということ。学大学に対して医療用N95マスク六〇〇程度(段ボール四箱)が寄贈され、寄贈式が行われた。

千葉科学大学は、危機管理学部動物危機管理学科において昨年令和三年の熱海市伊豆山土石流災害など過去の災害において、動物による救護だけに限らず、被災したペットの保護など様々な分野で貢献してきたことが認められたものとされる。尚、当日は団体の顧問を兼務する本学動物危機管理学科小沼守教授が団体側を代表して参加した。

学生主体の子宮頸癌啓蒙サークルColeusuやっぱり学生が主役

子宮頸がんは、主に子宮頸部にヒトパピローマウイルス（HPV）が感染することによって発生する悪性腫瘍で、女性生殖器の中では子宮体がんになり、部長を保健医療学科二年の鎌田レシチア優花里さん、副部長を同学科の石橋優香さんと、加藤聖也さん、会計を直井昂輝さんが務めることを生徒間の互選で決め、また、サークル名は七つの候補のうちから「Coleusu-Prelect Love Future」とした。

「Coleusu」は、今年四月に新たに設立されたサークルは、池上喜久夫指導教員の元、約40名のメンバーが集まった。五月十七日に銚子駅前で開催された啓蒙活動を行うことを初め、今後様々な所で子宮頸がんに関して正しい知識を若いうちから身に付けて予防することを訴えてゆく。

子宮頸がんというイメージがあるが、男性も多く参加していることが特徴だ。今回の、生徒が中心になり、部長を保健医療学科二年の鎌田レシチア優花里さん、副部長を同学科の石橋優香さんと、加藤聖也さん、会計を直井昂輝さんが務めることを生徒間の互選で決め、また、サークル名は七つの候補のうちから「Coleusu-Prelect Love Future」とした。

「Coleusu (プリウス)」とは花の名前で、その



**何がなんでも必ずこい！
いいものを見せてやる**

来たる六月十九日 千葉科学大学にオーブンキャンパスが開催される。今回の内容は「何がなんでも必ずこい！いいものを見せてやる」を見せてやる



とにかく来ない人には全くわからないが、来た人は必ず魂

四月になって、新入生が入ってくると、どこ出身か気になる。そのようなこともあって、北海道県人会の有志が集まった。その様子について三年生の一人に話を聞いた。



今回は女の子ばかりだったので、恋の話なども少しありますが、それは秘密です。

「北海道にも訛りがあるんですよ。特にイントネーションが違います。でも、県人会だとそういうこと感じないで話せるからいいですね。地元に帰った気分になります。地元の話のほかに、他の地域はわかりませんが、北海道では病院が奨学金を出してくれて、戻ってから五年間働けばよ

北海道県人会開催される

皆様は今を楽しんでほしい。

編集後記

今回はなんととても対談でしょう。スタッフは緊張気味でしたが、大学の「魂」がよくわかったのではないでしようか。



さて詳しい大学の事を知りたい人はQRコードからアクセスして見てください。